

一般財団法人  
アジア政経学会

2013年度  
第1回評議員会  
【定時評議員会】  
議事録

アジア政経学会 2013年度第1回評議員会【定時評議員会】 議事録

1. 日時 2013年6月15日(土) 12:30~13:30
2. 会場 立教大学 池袋キャンパス 12号館地下1階第3/4会議室
3. 評議員総数 3名
4. 出席者 3名(加藤、国分、末廣)
5. 委任状提出 なし
6. 出席者合計 3名
7. 議長 金子理事長
8. 議事

(ア) 定刻12時30分に金子理事長が議長席に着き、開会を宣言。総務担当・山本理事より本日の出席者が3名にて、定足数2名以上を満たしているため、本評議員会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本評議員会の議事録署名人として、末廣昭氏、加藤弘之氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2012年10月13日)評議員会議事録の確認を行った。

議案1. 法人移行について

金子理事長より、以下の各要点について報告と提案がなされた。

(1) 一般財団法人への移行登記について

4月16日付にて東京法務局における新法人への移行登記手続きが完了し、それを以て移行日を遡及し、4月1日付で「一般財団法人アジア政経学会」への移行が完了した。

(2) 新定款に基づく会員投票について

移行にともない新たに適用された定款のもとで会員投票を実施し、役員(評議員・理事・監事)候補者を選出した。

(3) 第Ⅱ期評議員選定委員会における次期評議員の選定について

2013年度第Ⅱ期評議員選定委員会(6月3日(月)開催)において、同年度第2回理事会(5月11日(土)開催)から推薦を受けた次期評議員候補者15名が選定された。

(4) 今後の評議員選定委員会・評議員会・理事会について

上記(3)で選任された次期評議員(任期4年)は、本2013年度第1回評議員会の後に開催される第2回評議員会において次期理事・監事(いずれも任期2年)を選任する。なお、後の2017年度時点の理事・監事は理事会において第Ⅲ期評議員選定委員(任期4年)を選任する予定である。

(5) 2013年度大会開催時期の変更について

法人移行にともなう上記(1)～(4)の日程を勘案し、2013年度は全国大会・総会を6月15日(土)・16(日)、東日本大会を10月12日(土)、西日本大会を11月9日(土)と、従来の各開催時期から変更した。

以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、承認された。

議案2. 2012年度決算について

澤田理事(財務担当)より、2012年度決算処理が完了し、監事(2名)による監査を経て、その承認を受けた旨が報告された。そのうえで、会計内容の詳細について説明された。

以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、了承された。

議案3. 2013年度予算について

澤田理事(財務担当)より、予算書の内容、及び予算書における今年度活動計画の反映状況について報告された。そのなかで、法人移行にともなう今年度からの変更点として、委託先の税理士法人タックス・アイズ(内藤氏)からの助言を受け、法人都民税(均等割)の相当額を新たに計上した旨が説明された。

以上の説明と報告は、いずれも審議の結果、承認された。

議案4. 2013年度活動計画について

山本理事(総務担当)より、今年度の活動計画の具体的内容として、以下の各要点について説明された。

- (1) 一般財団法人への移行にともなう組織と業務の改革
- (2) 大会、研究会の開催
- (3) 機関誌『アジア研究』の発行
- (4) その他の研究活動・研究普及活動の計画
- (5) 会員満足度の向上を目指す工夫
- (6) 学会活動における国際化・グローバル化への対応と調整
- (7) 財務体制の改善

以上の報告は審議の結果、了承された。

議案5. 海外のアジア研究学会との交流について

竹中副理事長より、以下の各要点について報告と説明がなされた。

(1) ドイツとの交流について

本学会は2012年度よりドイツとの学術交流を開始している。ドイツ・アジア学会(Deutsche Gesellschaft für Asienkunde)より、6月20日(木)・2

1日(金)に開催予定の研究大会(ベルリン)への参加要請があり、竹中副理事長と山本理事が参加することとなった。両者は大会初日の国際パネルである“International Panel on Governance Leadership in Asia”にて報告予定である。

また6月4日(火)・5日(水)には、東京において日独ベルリンセンター主催の日独シンポジウム「対中国認識および日本とドイツの外交政策」が開催され、高原理事と藤原会員が参加した。

(2) 韓国との交流について

韓国・アジア経済共同体フォーラム(Asia Economic Community Forum)より、2013年11月の研究大会への参加要請があり、前向きに検討中である。以上2件の報告と説明は、いずれも審議の結果、承認された。

議案6. 今年度の全国大会について

まず、2013年度全国大会開催校である立教大学の総長・吉岡知哉氏よりあいさつがあり、竹中副理事長より、開催校側の協力態勢、及び当日の開催状況について報告がなされた。

次に、丸川理事(研究担当)より、全国大会の趣旨と内容、具体的プログラムについて報告された。

続いて、清水理事より、アジア政経学会設立60周年記念国際シンポジウム“International Symposium for the 60th Anniversary of JAAS”(境界を越えるアジア研究—どこから来たか、どこへ行くのか?—)の趣旨と中心テーマ、報告者・討論者の国内外からの招聘状況について説明された。

また、会費優待者は全国大会開催時の懇親会費も大学院生と同等の扱いをする旨が確認された。

以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、了承された。

議案7. 今年度の東日本・西日本大会について

10月12日(土)に早稲田大学(早稲田キャンパス)にて開催予定である東日本大会については、山田満氏(次期理事候補)より、開催校側の受け入れ態勢、会場の確保状況、懇親会、託児所の候補、開催校企画案等、各準備状況について報告された。また、早稲田大学アジア研究機構(OAS)との共催とすることが確認された。

11月9日(土)に大阪市立大学(杉本キャンパス)にて開催予定である西日本大会については、永井理事より、各準備状況、経費、及び目玉となる開催校企画案等について報告された。

最後に、丸川理事(研究担当)より、自由論題と自由分科会の募集の予定日程について説明された。

なお、大会関連のホームページ更新業務については、お茶の水学術事業会からの提案を受け、今年度の東・西日本大会より学会側で対応する旨が確認された。

以上の報告と説明は、いずれも討議の結果、承認された。

#### 議案 8. 優秀論文賞について

滝口理事（優秀論文賞担当）より、第10回受賞者として、中岡まり氏の論文「中国地方人民代表大会選挙における『民主化』と限界——自薦候補と共産党のコントロール」（『アジア研究』第57巻第2号、2011年4月）が選ばれたことが報告された。また、会員総会にて報告、懇親会にて表彰式を行う旨が説明された。

以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、承認された。

#### 議案 9. 『アジア研究』の編集状況について

まず、園田理事（編集担当）より、第58巻3号が刊行されたこと、次号には2012年度国際シンポジウム“*What does '1972' mean to the Sino-Japanese relations?*”（1972年は日中関係にどのような意味をもったのか？）の特集を組む予定であることが報告された。

次に、三重野理事（書評担当）より、書評依頼に関する案内メッセージを学会ホームページに掲載したことが報告された。

以上の報告は、審議の結果、承認された。

#### 議案 10. ホームページについて

田村理事（広報担当）より、以下の各要点について報告と説明がなされた。

##### (1) 地域研究コンソーシアム（JCAS）への登録アドレス

学会広報用アドレスをフリーメールで作成し登録する。当該アドレスを用いて研究大会や国際シンポジウムなどの案内の掲載を依頼する。今後、当該アドレスは広報担当理事が継承する。

##### (2) 英文ホームページのリニューアル

今年度の全国大会のプログラムや国際シンポジウムの英文案内を掲載した。

以上の報告と説明は、審議の結果、承認された。

#### 議案 11. ニュースレターについて

小嶋理事（ニュースレター担当）より、次号No. 40は2013年9月の発行を予定しており、4月13日（土）開催の第1回理事会にて承認された内容に沿って作業を進めている旨が報告された。

以上の報告は、審議の結果、承認された。

議案12. 入・退会者について

山本理事（総務担当）より、入会申請者8名、復会申請者なし、再入会申請者なし、退会者1名、逝去なし、休会者なし、会費優待申請なし、について報告され、承認された。

<入会者> 柄谷藍香、有田義弘、前野清太郎、李昊、西村謙一、陳嵩、豊田三佳、  
菊池誉名

<復会者> なし

<再入会者> なし

<退会者> 竹野忠弘

<逝去> なし

<休会者> なし

次回評議員会は、2013年6月15日（土）13時35分から 立教大学 池袋キャンパス 12号館2階会議室にて開催予定。

以 上

金子議長が13時30分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成25年6月15日

一般財団法人アジア政経学会

議長

金子芳樹

印

議事録署名人

末廣 昭

印

議事録署名人

加藤 弘之

印